

N T T 労 働 組 合 退 職 者 の 会
神 奈 川 県 支 部 協 議 会

- 第 19回総会議案 -

2 0 1 6 年 1 1 月 5 日 (土)

- ワークピア横浜 -

横浜市中区山下町 2 4 - 1

NTT 労組退職者の会シンボルフレーズ

安心・信頼、
生きがいあふれる
2 1 世紀、みんなと共に！

第 1 号議案 2 0 1 6 年度活動方針 (案)

2 0 1 6 年度役員 (案)

NTT 労組退職者の会神奈川県支部協議会

URL <http://ntttaisyoku.pepper.jp/>

2016年度活動方針（案）

はじめに

私たちは、この一年「安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に！」をシンボルフレーズに、第24回参議院選挙における「石橋みちひろ」必勝に向けたとりくみを最重要課題に設定し、現・退一体のとりくみを積極的にすすめてきました。

1. 東日本大震災から5年7ヶ月が経過しましたが、未だ多くの方が避難生活を余儀なくされています。また、4月14・16日に発生した「熊本地震」では、福岡県支部協の会員お一人が犠牲となられたほか、多くの会員が被災されました。退職者の会としてもNTT労組のとりくみと連携し、震災の悲劇を風化させないとりくみと併せ、被災地・被災者を支援する様々なとりくみに今後も積極的に参加します。
2. 政治と私たちの生活は切り離すことができません。第24回参議員選挙の結果、改憲勢力が3分の2を超えたことで、安倍政権は、「憲法改正」や「労働者保護ルールの改悪」等を強引にすすめることが予想されます。私たちはこれらに強い問題認識を持ち、働く者・生活者の視点に立った政策や、安心・安全な希望の持てる社会づくり実現に向けたとりくみをすすめます。
3. 私たちは戦争の現実を知る最後の世代として、戦争の愚かさ・悲惨さを語り継ぐと共に、身近な暮らしに焦点をあてた政治・政策の実現に向け、第48回衆議院議員選挙には組織内候補「たじま要」衆議院議員（千葉1区）の必勝に向け「現・退一致」の運動を推進します。
4. 退職後の生活を楽しく・豊かに過ごすため、会と会員との双方向コミュニケーションの充実・強化を図ります。また、地震・津波、台風等の自然災害時の安否確認のとりくみ等については、支部協作成の「エンディングカード」の配付や、地区毎に連絡網の作成などのとりくみをすすめます。

ここに2016年度活動方針（案）を提案いたしますので、皆様の真摯な討論をお願いします。

一年の活動を振り返って

1. 活動の経過

私たちはこの一年間、「退職者の会」の更なる発展をめざし、現・退一体となった様々なとりくみを進めてきました。活動の詳細な経過については別紙「活動記録」によることとします。

2. 東日本大震災・熊本地震への対応

東日本大震災の復旧・再生にむけた被災地支援活動については、チャリティ地引網の中止等から十分なものとはなりませんでした。5年を経過したことから、より一層「風化させない」ことを重視し、被災地支援に取り組みます。また、4月14・16日に発生した「熊本地震」ではいち早く大分県在住会員の安否確認を行うと共に、情報労連・NTT労組の「被災者支援カンパ」については、神奈川県支部協全体で183名の会員から寄せられた660,987円を集約し、被災した退職者の会員・組合員・社員の皆さんに見舞金として配分されることとなりました。

3. 組織拡大・強化のとりくみ

- (1) NTT労組グループ連絡会との連携による3月末退職予定者説明会の実施等により、本年6月末現在の会員数は2,996名と昨年比で102名の純増となりました。（物故者41名、退会者30名）

- (2) 幹事会は11回開催し、当面のとりくみについて意思統一を図ると共に、役員相互の連帯・交流を深めつつ活動を進めました。また常駐体制については、週3日(月・水・金)副会長、事務局長、事務局次長によるローテーション方式とし、会員からの問い合わせ等の対応を行いました。
- (3) 会員の現況把握と仲間の助け合いを目的とした、80歳以上の会員に対する「訪問活動」については、対象会員数417名について9月～10月に実施しました。また、神奈川県外在住の会員については、郵送で対応しました。
- (4) 地区交流会は県内4カ所の地区で開催し、会員相互の親睦・交流を図ると共に、第一興商を講師に「健康体操」を実施しました。全4地区の延べ参加者は319名となりました。
- (5) 国内旅行は5月14～15日の1泊2日で「越後ゆきくら館酒造見学と弥彦神社参拝・月岡温泉の旅」を実施し、45名が参加しました。
- (6) 各種サークル活動は、ハイキングサークル、パソコンサークル、麻雀大会、囲碁サークル、ボウリング大会、パークゴルフ大会、写真サークルについて、年間を通じて活発にとりくまれました。詳細については、別紙「活動記録」を参照してください。
- (7) 会報「退職者の会ニュース」は年6回発行し、会員688名から寄せられた近況報告と、戦後70年を祈念し募集した「戦中・戦後の体験記」の投稿記事(4名・一部次号掲載予定)を中心に会と会員、会員相互の情報交換と交流を図ることができました。
- (8) 神奈川シニア連合には、事務局次長に東谷特別幹事、幹事に久保川副会長、明珍事務局次長、顧問に野中顧問を派遣すると共に、活動に積極的に参加しました。
- (9) 第18回総会以降の物故者は次の方々です。(2015年10月1日～9月30日)

後藤 俊郎(戸塚区) 福田 栄治(横須賀市) 牛島 和夫(中区) 鈴木 幸夫(横須賀市) 中尾 清治(藤沢市) 岡田 茂雄(戸塚区) 西尾 宮子(藤沢市) 佐藤 忠夫(秦野市) 武田 英男(戸塚区) 原 信良(小田原市) 大山 脩一郎(鎌倉市) 和田 清子(三浦市) 大森 頼光(茨城県) 岡本 とくゑ(戸塚区) 田中 秋夫(横須賀市) 高橋 武(藤沢市) 片山 源二(小田原市) 柄澤 朝司(横須賀市) 小林 比呂道(山北町) 武井 忠雄(平塚市) 指田 紀夫(藤沢市) 大河内 正治(神奈川区) 稲葉 主視(藤沢市) 山崎 和夫(藤沢市) 遠藤 千恵子(藤沢市) 原口 和也(戸塚区) 川名 吉輝(二宮町) 仲川 清(秦野市) 諸星 良雄(秦野市) 小林 サダ子(都筑区) 植松 静夫(海老名市) 梶ヶ谷 信義(横須賀市) 高橋 洋(横須賀市) 勝又 昭(品川区) 新宮 芳茂(泉区) 山口 栄一(平塚市) 永島 春男(金沢区) 小島 文雄(緑区) 加藤 房男(平塚市) 渡邊 正昭(静岡県) 塚田 武男(横須賀市) 佐藤 保夫(平塚市) 秋葉 百合子(南区) 三枝 勝美(青葉区) 平澤 満(座間市)

謹んでお悔やみ申し上げます。(敬称略)

4. 社会貢献・ボランティア活動等のとりくみ

- (1) ボランティア活動「ちいさな愛の会」は、80歳以上会員への「訪問活動」と連動し、延べ7名(前年10名)の会員が利用しました。
- (2) 2015年度「全国環境一斉行動」は5月29日「片瀬海岸東浜」で実施され、退職者の会からは7名が参加しました。

5. 退職者共済のとりくみ

2015年度退職者共済のとりくみは、昨年に引き続き今後起こりうる大規模災害への備えとして、自然災害共済加入を重点に会員・家族の安心、会員相互の助け合いとして7月を加入促進月間にとりくみました。支払い状況は次のとおりです。

(1) 任意共済加入状況(2016年7月末現在)

生命共済(あいあい)		生命共済(ささえ愛)		自然災害共済	
本人	249名	本人	843名	住宅加入者数	大型：382名
配偶者	48名	配偶者	493名		標準：928名
		子ども	23名	口数	大型：57,708口
					標準：106,652口
火災共済				家財加入者数	大型：363名
住宅加入者数	2,113名				標準：776名
口数	302,201口			口数	大型：26,962口
家財加入者数	2,176名				標準：47,015口
口数	154,009口				
交通災害共済					
加入者数	5,928名				
口数	27,444口				

(2) ありがとう

(2015年9月~2016年8月)

本人死亡	52名
70歳(古稀)	130名
77歳(喜寿)	72名
88歳(米寿)	19名

(3) 共済関係支払い

(2015年9月~2016年8月)

交通災害共済	22名
火災共済・自然災害共済	10名
生命共済(ささえ愛)	6名
生命共済(あいあい)	1名

6. 政治改革・生活制度改善、反戦・平和のとりくみ

(1) 「年金・医療・介護等の社会保障」等の改善については、2月17日の院内集會に4名、3月23日の退職者連合主催「低所得高齢単身女性問題学習会」に2名、9月28日開催の「2016全国高齢者集會」に19名が参加し、介護保険制度改革、後期高齢者医療制度廃止・新制度早期実現等、高齢者の要求を確認しました。

(2) 連合神奈川が実施している行政に対する政策制度の提言は、従来同様役員中心にとりまとめ提出しました。

(3) 7月10日投・開票で行われた第24回参議院議員選挙は、安倍政権の3年余にわたる政策を問う選挙と位置づけ、組織内候補「石橋みちひろ」(比例代表)を最重点に、組織重点・推薦候補の勝利を目指し、組織と一体となりあらゆるとりくみを展開しました。その結果、組織内候補「石橋みちひろ」は17万1486票を獲得し、2期目の当選を果たすことができました。この間、各種とりくみにご協力をいただいた会員・家族の皆さまに心からの感謝と敬意を表します。

2016年度活動目標（案）

活動の基本

1. 支部協組織の拡大・強化・自立、会員相互の連携・助け合いと親睦・交流
2. NTT労組グループ連絡会と一体となった活動の展開
3. 「日本退職者団体連合（通称：退職者連合）」「神奈川シニア連合」等を通じて、高齢者医療制度改革の早期実現を求めるなど、高齢者の社会福祉政策の実現
4. NTT事業への協力

具体的な活動の進め方

1. 組織拡大・強化・自立のとりくみ

神奈川県支部協議会は「自主・自立」「健康・親睦・相互扶助」を基本に、「安心・信頼、生き甲斐あふれる21世紀、みんなとともに」をシンボルフレーズに、いきいきと楽しく、活気ある活動を展開します。

- (1) 組織拡大については3月末退職者に対し、グループ連絡会、総支部、分会等の協力を得て退職予定者説明会を開催し、「退職者の会」への加入促進に努めるとともに、既退職者の未加入者に対しても組織拡大・強化のとりくみを継続します。
- (2) 支部協の常駐日は原則として毎週月曜日・水曜日・金曜日を常駐日とし、会員をはじめ中央協、NTT労組、神奈川シニア連合等とのコミュニケーションに努めます。
- (3) 支部協の運営は、三役会議・幹事会等を適宜開催し、意思統一をはかり具体的活動をすすめます。また、共済担当ならびに会計担当の事務局次長を配置します。
- (4) 会員相互の「つながり」づくりに向け、次のとりくみを行います。

地震、噴火等の大規模自然災害時の安否確認のとりくみについては、NTT労組グループ連絡会・分会等と連携すると共に、下記(6)項の各地域毎に連絡体制の確立や第2連絡先の把握等の整備、「不測の事態には支部協へ連絡する」との意識高揚にとりくみます。

80歳以上会員に対する「訪問活動」「お元気コール」を地区担当役員を中心に年1回実施し、双方向のコミュニケーション活動を強化します。

会員生活支援のとりくみである、「ちいさな愛の会」の活動は、引き続き「庭の手入れ（除草等簡易な作業）」等を中心に、80歳以上の会員に対する「訪問活動」「お元気コール」とも連携したとりくみを行います。
- (5) 地域ごとに担当役員及び副会長を配置します。なお、女性役員の選出を意識し、各サークル女性参加者の横断的な交流の場等工夫し、女性の声・ニーズを把握する中から役員の増加・育成に努めます。
- (6) 会員相互のコミュニケーションと情報交換を目的とした地区交流会は、身近な問題の学習を含めて開催します。地域については次の通りとします。

川崎・横浜地区

川崎市、横浜市、東京23区

横須賀地区

横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町

藤沢・厚木地区

藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、綾瀬市、大和市、相模原市、海老名市、座間市、厚木市、高座郡、愛甲郡、東京都下

平塚・小田原地区

平塚市、伊勢原市、秦野市、小田原市、南足柄市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、静岡県

- (7) 神奈川シニア連合からの各種行動、行事への参加要請に積極的に対応します。
- (8) NTT労組及び情報労連が行う各種行事に積極的に参加し、現・退一体による交流・連帯を深めます。
- (9) 会員相互の親睦、研修・交流の場として、次の行事を実施することとします。

なお、旅行の団体名は「ゆとりノ会」とします。また、各種行事の主催者は神奈川県支部協議会とします。

国内旅行（一泊2日）

- ・訪問地 「美濃和紙あかりアート館・犬山城・明治村の旅」
- ・実施時期 2017年4月13日（木）～14日（金）
- ・募集人員 45名（先着順）
- ・参加費用 28,000円程度

- ハイキングサークル ハイキングサークルに登録し適時実施
- パソコンサークル パソコンサークルに登録し、横浜・横須賀2会場で適時開催
- 写真サークル 写真サークルに登録し適時開催
- パークゴルフ大会 年2回 2017年 春 秋
- 麻雀大会 年2回 2017年 春 秋
- 囲碁サークル 囲碁サークルに登録し適時開催。大会は年2回春・秋に開催
- ボウリング大会 年2回 2017年 春 秋

以上の参加者募集は、別途一括登録して頂き、その都度案内します。

- (10) 「会報」退職者の会ニュースは原則として年5回発行し、支部協の活動状況の周知及び会員の近況報告並びに会と会員との相互交流をはかります。また、支部協ホームページの充実と活用強化に努めます。なお、投稿・近況報告については、Eメールも活用し、会員からの積極的な投稿を要請します。
- (11) 会員名簿はプライバシー保護のため、市区町村名と字（町）名のみとします。
- (12) 退職者の会「ありがとう」メニュー（古稀・5000円、喜寿・8000円、米寿・5000円、弔慰金5000円）については、会員に遺漏の無いようにとりくみます。また、弔慰金については、支部協として5000円を上乗せし支払います。

2. 社会貢献活動・ボランティア活動のとりくみ

NTT労組、NTT、連合神奈川等が企画・実行する社会貢献活動・ボランティア活動に積極的に参加することとします。

3. 福祉活動のとりくみ

- (1) 電通共済生協の各種請求・変更・解約等の問い合わせに対し、退職者の会として対応できるよう引き続き担当役員・幹事の研鑽・学習を深めます。また、加入促進のとりくみ期間中は月～金曜日

に共済担当役員が常駐し、会員からの問合せに対応することとします。

- (2) 会員の高齢化に伴い、共済切り替え時の掛け金・会費の納入をスムーズに行うため、引き落としの手続きをされていない方は引き落としへの協力をお願いします。
- (3) 会員死亡後の共済の継続については、遺族組合員への切り替えを進めます。また配偶者がいない場合は全労済への切り替え案内等、遺漏のないようにします。
- (4) ユアサポート(株)・きらら保険サービス(株)の「まもるくん」「がん保険」等の加入促進をはかります。
- (5) 会員に特典をもたらす中央労働金庫の「ろうきん友の会」への加入を促進します。
- (6) 神奈川県支部協独自で契約している「(株)全国儀式サービス」の周知と活用を促進します。

4．生活制度改善のとりくみ

- (1) 年金・医療・介護保険等の社会保障、高齢者福祉の充実等の実現に向け、中央、地域、神奈川シニア連合などの活動に積極的に参加します。
- (2) 連合神奈川が実施している神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市等自治体に対する「政策制度要求」には、引き続き会員からの身近な提言を求めることとします。

5．NTT事業への協力

日常的に現役NTT組織との連携を密に、情報の共有化に努めるとともに、NTTから要請された事業協力には積極的に対応することとします。

6．政治改革、反戦・平等のとりくみ

- (1) 生活者重視の政策実現や、年金、医療、介護などの社会保障制度充実に向けて、政治活動に積極的にとりくみます。
- (2) 次期第48回衆議院議員選挙に向け、組織内候補「たじま要」衆議院議員(千葉1区)の再選を目指し、「現・退一致」のとりくみを積極的にすすめます。
- (3) NTT労組の政治団体である「アピール21」(会費・年500円)に対しては、会員の理解と協力をお願いします。
- (4) 世界の恒久平和と核兵器廃絶の実現を求める行動に参加すると共に、戦争体験記「平和への祈りをこめて」や会員から投稿された「戦後70年に想う」等を活用し、地域において戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える「語り部」として世代を超えた平和を守る役割を果たしていきます。

以上